

合唱団ホームページアドレス <http://www.wiengifu.org>

音楽とは 横への感性なり!

7 月号

2017年7月1日
編集・発行/
ウィーン岐阜合唱団

岐阜の街 ウィーンの如く ^{おとたの}音楽し 作:音楽総監督 平光 保



DEAR 平光先生!

この度は、本当に“平光 WORLD”に触れる機会を与えてくださって心から感謝しております。

ありがとうございました。やはり、DVDで“第九”を始め、様々な曲を指揮される貴氏は素晴らしい、格好良いと思っておりましたが、生の練習、音楽作りのプロセスの一端ではありますが、その姿はさすがこの日本の音楽界に類を見ない独自の道を歩んでいらっしゃる姿だなあーと、感銘を受けました。情熱と自信と喜びに満ちた指揮ぶりは、本当に凄いと感動と驚きでいっぱいの合宿と合宿前の合同練習(5月26日夜(木))に参加させていただいた時の率直な私の気持ちでした。ありがとうございました。

私にとって、伴先生にお会いできたのも、この度の収穫であり喜びでした。体調がすぐれなかったにも拘わらず、見事な指導ぶりでしたし、やは

り、貴方をしっかりサポートしていらっしゃる事態が良く分かりました。“平光ワールド”“平光サウンド”が形成される時、伴先生の存在は非常に大きな要素ではないかと思いました。

2017年5月29日(月)

主の平和 From 松本 正俊



合宿に参加して = 感じたこと =

岐阜本部 アルト 田中 邦子

澄みきった五月晴れに恵まれ、乗せていただく事の喜びを感じながら、一路コージュ高鷲へ旅行気分に参加させていただきました。水芭蕉の壁画が素敵なホールでレッスンの始まりです。伴先生の叱咤激励の教えにビビリながらも、命を削るほどの情熱を感じ、チャーミングな笑顔に魅了されます。菅原先生の決してぶれないピアノに対しての姿勢、ページをめくる時に清らかさ、飄々とした人柄の中に秘められた演奏家魂を感じます。そして、偉大な平光先生。しなやかな指先と訴えかける眼差し、手話のように語りかける口元に覚束なく声を出している私にとって、とても心強く、メロディーを導いてくださいます。ラストに 100 名近い合唱団のハーモニーがホールに響きわたりました。

先生が若干と前置きされながらも、褒めていただいた時は、本当に感慨無量でした。縁あってウィーン岐阜合唱団にお世話になって半年、佐渡 裕さんの1万人の第九に参加したいとの安易な思いつきで何の基礎知識もなく、ほぼ 50 年ぶりに楽譜を読む私に立ちはだかる大きな壁でした。大変、大変と、後悔する日の多かった事。でも、先生方の命がけで教えてくださる熱意、スタッフ、先輩方の温かいサポートに支えられ、何とかここまで辿り着くことができました。これからも、感謝の気持ちを忘れず歩んでまいります。ただ、娘に「一生懸命もいいけど、燃え尽き症候群にならないように」と、釘をさされ、先生に教えていただいた「脱力が鍵」と、自分に言い聞かせ、楽しさを味わいながら、活路を見出したいと思います。

初めての合宿参加

大垣支部 アルト 近藤 久実

昨年の7月、私は初めてウィーン岐阜合唱団の定期演奏会を聴くチャンスを得ました。その時の感動は今も思い出されます。

「私もぜひ参加したい」という強い思いと、幸いにも誰でも入団できるということで、迷わず入団する事になったのです。それから、もう9ヶ月が過ぎました。毎週金曜日の練習が楽しみで、週末が待ち遠しく感じられます。しかし、毎回の練習で、私にとって正しく歌うことはなかなか大変で、手探りの連続です。それでも先生方が優しく、しかも忍耐強くご指導して下さるため、何とかここまで続けることができました。そして、仲間の皆さんの励ましから沢山の元気をいただきました。昨年の12月に初めて“第九”の演奏会を経験させていただきましたが、今年の7月の定期演奏会もぜひ出演したいと思っています。

そのために少しでも上達したいと、今回の合宿に初めて参加しました。

団員の方々は、新人の私をとて温かく向かえてくださり、色々なお話も伺う事ができました。私はこの合唱団の一員になれたことを本当にありがたく思い、楽しく意義深い時間を過ごす事が出来たと感じています。

また、今回の合宿においても平光先生の熱のこもったご指導と伴先生の正に粉骨砕身のご教授は自然と私の心に「何としても先生のおっしゃる事に応えていかねば」という気持ちが生まれました。実に充実した合宿の2日間でした。また、菅原先生のピアノ演奏は、いつも素晴らしい感動を与えてくださいますが、今回も即興で演奏され美しい旋律は、すっかり心を奪われてしまいました。さらに、今回は特別に松本正俊牧師の講義を聞かせていただく機会を得ることができました。牧師のソフトで包み込むような優しい歌声と信仰に対する真摯な姿勢に頭が下がる思いです。とても良い経験をさせていただきました。

今回の合宿で私なりに得たことを大切に、今後の練習に生かしていこうと覚悟を新たにしました。皆さん、これからもどうぞよろしくご指導ください。

ウィーン岐阜管弦楽のみな様へ

芸術鑑賞会の演奏ありがとうございました

岐南町立東小学校生 一同

先日は、本校の芸術鑑賞会においてご多忙中にもかかわらず、素晴らしい演奏をしていただき、誠にありがとうございました。


子ども達の反応もよく、本当に楽しい時間を過ごす事ができました。演奏の時もさすがプロの方だなど関心しきりでした。特に、平光様と伴様のステージはテンポがよく、楽しくみているうちに時間が過ぎてしまいました。マイクを握った時の伴様のキラキラと輝いた眼やお声が、今でも頭から離れません。平光様からは、人を動かす魅力というものに触れたような気がしました。まるで、夢の中の様な時間でした。他の職員からも、楽しいステージだった。ウィーン岐阜管弦楽団にお願いしてよかったという感想をもらっています。子どもからの感想も同封させていただきます。

今後は、皆様から教えていただきました本物の音楽を楽しむという体験を生かし、まさに、音を楽しんでまいりたいと存じます。今後とも、よろしくご指導くださいますようお願いいたします。

末筆ではございますが、ウィーン岐阜管弦楽団の一層のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

平成 29 年 6 月 6 日


岐南町立東小学校 森 久美子



いろいろながきをひいて、ほくは、バイオリンをひいてみたいと思いました。今日のえんそうは、楽しかったのだから、からもかんばってえんそうしてください。今日は、ありがとうございました。




えんそうかいのようす



とても楽しかったです。いろいろながきがあて、しらないがきを見たことあるが、きもありました。どれ、きれいな音でした。ばんちゃんはとてきれいな声でした。きょうは本当に楽しかったです。きょうはありがとうございました。

きれいなえんそうを聞かせてくれてありがとうございました。とくにバイオリンがきれいな音でした。聞いた中で「天ごくとしごくが」楽しい歌でした。矢口らないがきがあてはじめで矢口、てよかったです。



きれいな音楽ほんとうに、ありがとうございました。がきはすごくきれいな音でかんたんでした。前に出た日は、きんちゃんしました。また聞きたいです。がきはすごいと思いました。



5月8日はいろいろきかせていただきありがとうございました。きょうは、きょうと書いて、すごく楽しかったし、ずいぶんいられると思えました。がきは、かがやいているもの、ぎこくでかいものがびっくりしました。うつくしいがきのね、いろいろやってきれいな音がたせると、うたで、きこえました。また、ききたいです。



7月～10月練習予定

練習時間は18:45～20:45です。(18:30には集合しましょう!!)

月日	岐阜	月日	大垣
7月 6日 (木)	長森コミュニティセンター	7月 7日 (金)	大垣市南地区センター
7月16日 (日)	岐阜・大垣強化練習 長森コミュニティセンター 14:00～17:00		
7月13日 (木)	長森コミュニティセンター	7月14日 (金)	大垣市南地区センター
7月20日 (木)	長森コミュニティセンター	7月21日 (金)	大垣市南地区センター
7月23日 (日)	岐阜・大垣強化練習 長森コミュニティセンター 14:00～17:00		
7月27日 (木)	岐阜・大垣合同練習 大垣北地区センター 18:30～20:00(オケ合わせ)		
7月29日 (土)	岐阜・大垣強化練習 長森コミュニティセンター13:30～16:00 (最終確認)		
7月30日 (日)ウィーン岐阜合唱団定期演奏会 本番 岐阜市民会館大ホール 14:00開演			
8月10日 (木)	長森コミュニティセンター	8月11日 (金)	大垣市南地区センター
8月17日 (木)	長森コミュニティセンター	8月18日 (金)	大垣市南地区センター
8月24日 (木)	長森コミュニティセンター	8月25日 (金)	大垣市南地区センター
8月31日 (木)	長森コミュニティセンター	9月 1日 (金)	大垣市南地区センター
9月 7日 (木)	長森コミュニティセンター	9月 8日 (金)	大垣市南地区センター
9月14日 (木)	長森コミュニティセンター	9月15日 (金)	大垣市南地区センター
9月21日 (木)	長森コミュニティセンター	9月22日 (金)	大垣市南地区センター
9月28日 (木)	長森コミュニティセンター	9月29日 (金)	大垣市南地区センター

音楽の都、ウィーン。歩行者天国のケルトナ―通りでは、音楽家が演奏を披露し道行く人々たちを魅了します。レストランでも生演奏が響き、通りでは若者が腕を組んで歌いながら、楽しそうに歩いています。まさに音楽あふれる街です。日本でクラシックという身構えて堅苦しいイメージですが、原点は宮廷音楽にあります。貴族たちが音楽家を招き、音楽と共にワインでも飲みながら楽しい生活を送りました。

素描

岐阜をウィーンの街の如く

ウィーン 岐阜管弦楽団 音楽総監督 平光 保

ファンは1%にすぎないという話題になりました。カラオケファンは40%はあることでしょ。以来、クラシックの原点である宮廷音楽のようにおつと、誰でも楽しめる「第九」など、いろいろ指し、クラシックのイメージ改革に取り組むことにしました。

まずは会場に入った瞬間から宮廷の雰囲気を感じてもらうこと、ロビコンサートとして定番の定期演奏会を企画しました。夏の定期演奏会では視覚でも楽しんでほしい。ウィーンの街の如く、クラシック音楽の普及を目指して華やかなステージしたいと思います。

平成 28年 12月 20日 岐阜新聞朝刊より

クラシックとキリスト教(レクイエムが作られたわけ)

ヨーロッパ文明は、キリスト教を抜きにしては考えられない。もともと、ヨーロッパでは北ヨーロッパ、ローマ、ケルトといった各地方の人達が自分達の神話をもっていた。ところが、キリスト教が布教され、国教となるにしたがい他宗教はいわば土着信仰としてキリスト教のなかに吸収されていった。クラシックにおいてもキリスト教の影響ははかり知れない。教会は音楽家の重要な雇い主であり、もし、教会がなかったらバッハやヴィヴァルディといった人達は飯の種にも事欠いたかもしれない。教会作曲家は宗教曲(ミサ曲や日々の祈りのための曲)を作り、ミサのためにオルガンを弾き聖歌隊を指揮した。19世紀になって作曲家がフリーのアーティストのようになってからも、キリスト教の影響は彼らの心のなかから消えなかった。友人や家族の死は、しばし、レクイエムを作曲する動機になった。このレクイエムはたんに死者の魂の平安を祈るのではなく、最後の審判の日(あらゆる人間の所業が神によって審判され、悪者は永久に地獄に堕ちてしまう)において、手びどく扱われず、救われるようにと祈る。いつの日か神が現れて正しい人間を救うというハッピーエンド期待の思想は、近代の西洋音楽に通底している。クラシックの多くは暗く始まり、数十分もだえ苦しんだのち、明るいクライマックスに到達する。これは、苦しい人生―神の栄光の国へというキリスト教の教えと同じ精神構造なのだ。これを信じきれないものは、逆に暗く終る曲を書いた。このような音楽が、西洋以外では見いだしたいのは意味深長である。

青弓社発行 許 光俊著 クラシックのツボより抜粋